

Access Report

2019年 5月 10日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	学校情報	教育情報	教育情報	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・鷗友学園 ・湘南白百合学園 ・慶応中等部 	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期の主な学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校 ・高校国語 ・調査書の電子化 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大の英語 ・2020年教育改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言・迷言・冥言 ・入試英語に話す ・スマホと学力

学校情報

鷗友学園 入試報告会(4月24日)

3)2019年度中学入試分析と大学入試結果報告 教頭 大内先生

1. 2019年度入試結果

	第1回	第2回
募集人員	約 180 名	約 40 名
応募者数	515 名(+29)	642 名(+133)
	うち同時出願 327 名(+39)	
受験者数	499 名(+30)	427 名(+115)
合格者数	227 名(-4)	109 名(+11)
実質倍率	2.2 倍(2.0 倍)	3.9 倍(3.2 倍)
入学者数	177 名(-13)	61 名(-3)

入学者合計 238 名(-16) ※()は昨年数、または昨年との増減

2月1日入試状況

出願者数、受験者数は4年連続で増加、第1回、第2回同時出願者数も300人を超えた(過去最高)合格者数は昨年とほぼ同じ数とした、入学率が始めて8割を切った(85%→81%→82%→78%)

2月1日夜～2日の出願状況

1日他校受験者の出願者が昨年よりも増加している。

2月3日入試状況

出願者数、受験者数は、それぞれ100名以上増加、御三家合格発表後の出願が増えたため、合格者数を増やした、入学者数は昨年とほぼ同じ人数となった、入学率の推移50%→68%→65%→56%

再チャレンジ受験生の状況

合格者109名のうち、28人(25.7%)が再チャレンジで合格、2019年度は、再チャレンジ率が上昇(83.7%→87.6%→91.4%)。受験者数の増加により、再チャレンジ受験生の合格率は下がった(14.8%→16.4%→13.9%)、再チャレンジ受験生の入学率は上昇(91.0%→92.8%→96.4%)

辞退者進学先(判明分・第1回)

豊島岡10、洗足学園5、県立相模原4、慶應中等部2、慶應湘南藤沢2、渋谷教育渋谷2、白百合学園2、広尾学園2、学芸大竹早1、都立武蔵1、区立九段中等1、浦和明の星1、吉祥女子1、明大明治1、栄東(東大特)1、帝京大附(特)1

・辞退者進学先(判明分・第2回)

フェリス2、吉祥女子2、女子学院1、早稲田実業1、渋谷教育渋谷1、広尾学園1、洗足学園1

帰国生加点制度について

帰国入試はないが、日本と違った学習環境にあるために思うような受験準備ができない事情を考慮して、入試の点数に加点する制度。11月20日～予約受付開始。12月～1月に保護者面談によって点数を決定(2、3点から40点くらいの範囲)、英語圏・非英語圏に差はない、入学後は一般生と同じクラスになるが、希望者には放課後英会話の時間を用意。

2. 大学合格状況(詳細なデータはホームページで確認してください)

国公立19.8%、難関私立(早慶上智、理科大、ICU)30.4%、GMARCH16.5%、その他(医歯薬、看護、芸術系の単科大学を含む)17.3%、受験準備16.0%。自然科学、人文科学、社会科学系など、多様な進路選択が可能になっている。

4)各教科より入試問題分析・次年度入試に向けて

1. 国語科 久保田先生

・入試問題の構成

大問1 文学的文章(物語の設定を確認する問題、表現や心情を読み取る問題、物語のテーマに関する問題)

大問2 説明的文章(話題に関連した問題、テーマに関わる問題、筆者の考えや問題提起を問う問題)

大問3 漢字の書き取り(教育漢字より5題)

・2019年度出典一覧

第1回 一『わたしの空と五・七・五』(森埜こみち著)、二『翻訳ってなんだろう?あの名作を訳してみる』(鴻巣友季子著)

第2回 一『木曜日にはココアを』(青山美智子著)、二『コミュニティデザインの時代』(山崎亮著)

・文章量と設問数・解答例字数

第1回 文学的文章(6178字、4題/315字)、説明的文章(2512字、3題/175字)、合計(8690字、7題/490字)

第2回 文学的文章(5713字、5題/366字)、説明的文章(2743字、3題/257字)、合計(8456字、8題/623字)

記述の場合、解答用紙の一行の字数の目安は、25～30字程度。

・入試で見たい力

受信する力～まとまった文章を読み、情報の整理をしたり、相手のメッセージを読み取ったりする力
発信する力～理解したものを再構成し、自分で表現する力

・採点方法は、「要素」「加点」方式～要素としている事柄が入っていれば加点していく、部分点あり。

・その他、大問ごとの設問構成などについても「入試対策資料集」に詳細な解説が載っているので参照。

・記述問題の学習法①＝国語の基本的な勉強法(「文章」に慣れる)

色々なジャンルの本を読む ※時代・場所・世代が違う作品、その内容を誰かに説明する、場面ごとの「構成」を図式化する。「図式化」したものを文章化する。全体の「あらすじ」「要点」を50～100字程度にまとめる。

・記述問題の学習法②＝「練習」が必要

解くときは、解答は、本文の中の表現から根拠を探しながら作る、自分の解答を声に出して読む(1回で読める文章にすることをめざす)、解き終わったら、過去問を解き、入試問題資料集を見ながら要素ごとの採点をする、正解の文章と照らし合わせる(解答例を書き写す)。

・漢字の書き取り～小学校で学習する範囲、語(漢字)の意味を理解して入れれば書けるもの、四字熟語、送り仮名を含めた形式も出題する。丁寧に書かれているかを見る。

2. 数学科 新野先生

・問題数と解答用紙

7～8題(大問1に計算問題2題程度)、全問記述式(途中点がつく)。入試対策資料集の25ページ～に採点例を載せているので参考にしてほしい。

・問題の構成

計算問題、代数の定番(人数、お金、個数など)、速さと時間、図形:平面図形(角度、線分の長さ、面積)、立体図形(表面積、体積)、場合の数、演算記号、数の規則性、グラフの読み取り、グラフの利用

・差がついた問題(第1回)

4番「平行四辺形」面積・比(合格者は(1)(2)をほぼ正答している。)

5番「円錐の移動」立体のイメージができていなかった。

6番「ポンプ、比」

7番「グラフ 速さと時間」(時間切れになったか)

・差がついた問題(第2回)

3番「仕入れ値 比」状況を把握できていなかった。

4番「平面図形 面積」過去問で練習できていたか。

7番「グラフ 速さ・時間・距離」状況を把握できていなかった。

・各ページの空欄について

受験生が日頃学習しているときに書いている線分図・表・樹形図などが書かれていればそれを読み取る。図の中に書き込んであっても読み取る、しかし「解答欄に答えのみ、あとは白紙」という解答では読み取ることができない。

・2020年入試について

出題形式(途中の記述)は昨年通り、鷗友の定番(特に、比と割合、平行四辺形、速さ)を出題、読解力と分析力を見たいので、最後まであきらめないで取り組んでほしい。

3. 社会科 小早川先生

・出題のコンセプト

基礎知識を問う問題～これまでの学習量を測る、与えられた情報に自分の知識を組み合わせる
答える問題～学習の深まりを測る、これらから要素が不足することなく入った解答、題意に沿った解答を求める。

・社会科学習のポイント

①基礎・基本を大切にする(作図・読図～手を動かす作業に慣れる、歴史事項の把握～いつ、どこで、誰が、何を? 出来事の順番・因果関係、日本国憲法は基本的な条文をおさえる、基本用語を自分の言葉で説明できるか?)

②問題文を正確に読み取り、的確に答える(写真・グラフ・史料など資料に触れる→初見の資料でもあわてずに対応すること)

※地理、歴史、公民の出題例を使って具体的な説明(入試対策資料集を参照)。

・漢字について

小学校で学習する常用漢字・教科書に漢字で記載されている都道府県名・人物名・時代名は漢字で書いてほしい。ひらがな、誤字は減点する。

・まとめ～2020年度入試に向けて～

基礎を確実に固めること。

記述問題に答えるときの注意事項として、問われていることに対応しているか、主語と述語が結びついているか、誤字や文法的におかしな表現はないか。

鷗友の社会科入試のキーワードは、「平和・戦争」「人権」「環境」「女性」

4. 理科 篠本先生

・鷗友の理科が求める受験生に求めるもの

①基本的な知識を使う力 ②情報を整理する力 ③考えたことを表現する力

・今回の入試の概況

①平均点 第1回 65.2点 第2回 62.8点

②昨年同様、問題文の量を控えめにした(平均点が低い年は、問題量が多く解き切れていないとい

う状況があったため)。

③時間配分を考えて取り組んでいた。

④基本問題であっても、問題から情報を読み取れていない受験生がいた。

⑤グラフ問題の対策ができていた(入試対策講座でも、グラフ問題の対策を解説しておりその効果か)。

・記述問題の出題意図は、多くの情報を整理して、考えたことを発信する力を見たいがため。単なる知識問題だという思い込みで説明文を読み飛ばしてしまったり、問題文に書いていない条件を想像で入れてしまったりする。→問題文から情報を正しく読み取り、要点を簡潔に答えてほしい。

・グラフ攻略法(「直線部分はグラフを延長」、対策講座では「理科のグラフは関係性を見いだすためにかく」ことを説明した)については、入試対策資料集を参照。

・解答の書き方

①文字は丁寧に読みやすく。

②式は分かりやすく。←なぜその答えになるのか、過程を見たい。

③記述では要点を簡潔に。←解答欄の大きさにも注目してほしい。

・誤字の採点について

①漢字指定の場合は×

②記述問題の場合、理科の用語は減点するが×にはしない(例:太陽○→大陽△)。理科の用語ではない場合は減点しない。

・学習する際に心がけてほしいこと

基本的な知識をしっかりと身につける、問題文を丁寧に読む習慣をつける、自分が何をしようとしているのかわかるように、整理して書く、グラフは意味を考えながら解く。

5)2020年入試のための学校説明会等日程(インターネット予約制)

・学校説明会

5月18日(土)10:00~11:30、14:00~15:30

6月14日(金)10:00~11:30

9月 4日(水)10:00~11:30

10月26日(土)10:00~11:30

11月12日(火)10:00~11:30

12月 7日(土)10:00~11:30

・オープンキャンパス

7月6日(土)9:30~15:30

・かもめ祭

9月14日(土)9:30~16:30、15日(日)9:30~15:30

・入試対策講座

第1回 12月15日(日)10:00~11:30

第2回 12月15日(日)13:30~15:00

＝各教科からの分析に関しては、「入試対策資料集」に詳しく説明されているので、鷗友学園の受

験を考えている場合は必ず読んでおいてほしいと思います。=
(報告 A. Ta)

<https://www.ohyu.jp/>

湘南白百合学園 2020年入試概要

変更点

1. 帰国子女入試の早期化
2. 一般入試面接の廃止
3. 複数回入試の導入

第1回 2月 1日午後 算数1科

第2回 2月 2日 4科または国算+英語資格

帰国 12月21日 A方式またはB方式

2月1日午後は試験開始時間を2パターン設定し、受験生が選択する。

英語資格はグレードを得点化して国算二科目の得点と合算。

帰国A方式は国算英の3科目から得点の高い2科目の合計点で判定。

帰国B方式は国算の2科目の合計点で判定。

※ 第1回入試および第2回入試では面接を廃止

※ 定員・試験時間配点等は未定

※ 出願はweb出願のみ

※ 詳細は9月1日発行の募集要項を参照

※ 決定事項はホームページで随時お知らせ

<http://www.shonan-shirayuri.ac.jp/chukou/>

慶応中等部 学校説明会

日時 11月 9日(土) 11:00～、13:30～

11月10日(日) 11:00～、13:30～

各回とも同じ内容。

場所 慶応大学三田キャンパス 西校舎ホール

対象 受験生および保護者(小学校5年生以下の児童の参加も可)

事前申込は不要。

上履き不要。

駐車場は無し。

展覧会(文化祭)と同時開催。

展覧会日程 11月 9(土) 12:00～16:30

11月10(日) 9:30～16:00

<http://www.kgc.mita.keio.ac.jp/>

1学期の主な学校行事

添付別紙参照または添付ファイル参照
